

小論文

令和 五年度 編入学試験問題用紙 【一般選考】

比較文化学部 比較文化学科

次の文章は、志村よくみ「一色一生」の抜粋です。この文章を読み以下の問いに答えなさい。

問一 傍線部で筆者は、「私はそれ等の人々の仕事をみて、吾々の仕事と全く紙一重のような、微妙な表裏一体の関係を思ふのである。」と述べています。「それ等の人々の仕事」と「吾々の仕事」がそれぞれ何を指しているのか記した上で、それらがどのような点において「表裏一体」であるのか、筆者の考えを二五〇字前後で説明しなさい。

問二 筆者の「伝統」に関する定義を踏まえながら、あなた自身の「伝統」に対する考えを、具体例を一つ以上挙げて八〇〇字以内で論じなさい。（具体例は、国や地域を問いません。）

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

小論文

令和

五年度

編入学試験問題用紙

一般選考

比較文化学部 比較文化学科

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。